

Koyo

光洋精工(株)

豊田工機(株)

TOYODA

**光洋精工・豊田工機
合併に関する合同説明会**

2005年2月3日

於：東京証券取引所

合併に至った背景

両社の統合により、世界トップレベルのシステムサプライヤーの事業基盤を備えることが、競争が激化する自動車業界のお客様の期待・信頼に応える最良の方策と判断

お客様のニーズにスピーディ且つ的確に応えられる
グローバル営業・開発・生産 拠点の展開

技術革新リードタイムの短縮、システムの複雑化・大規模化に対応できる技術開発力とリソースの確保

ステアリングに関しては、'02年11月に(株)ファーベスを設立、両社の電動パワーステアリングの営業・開発リソースを結集し、成果を出しつつある

合併の目的

ファーストでの統合効果を
ステアリング全体へ展開させ、
お客様ニーズに応える

ベアリング・工作機械・
駆動についても統合に
よって効果を出せる

全体統合

光
洋
精
工

ステアリング事業

世界レベルのシステムサプライヤー

ベアリング事業

駆動事業

工作機械事業

基盤事業であるベアリング・工作機械の一層の発展

4事業のシナジーによる新たなビジネスチャンス創生

豊
田
工
機

めざす姿

世界に認知され、社会の信頼に応え、期待され尊敬される企業

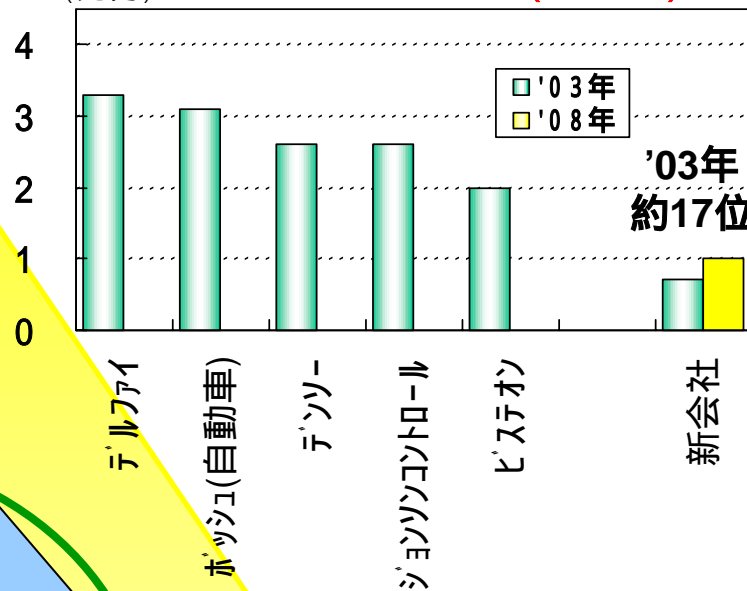
飛躍 成長

シナジー効果

自動車部品事業
(ステアリング、ベアリング、駆動)

工作機械事業
(モノづくりの基盤)

(兆円) 業界ポジション(売上高)



'03年
約17位

合併の概要

両社是对等の立場で合併する

- ◆ 社名 : 決定次第公表
- ◆ 合併期日 : 2006年4月1日
- ◆ 存続会社 : 光洋精工株式会社
- ◆ 役員体制 : 社長 吉田紘司(現光洋精工社長)
副社長 横山元彦(現豊田工機社長)
その他の役員に関しては決定次第公表
- ◆ 本店所在地 : 大阪市
- ◆ 本社 : 名古屋市(経営・管理機能)
大阪市(営業機能)の2本社制

合併比率

会社名	光洋精工	豊田工機
合併比率	1	0.76

株式の割当比率

豊田工機の普通株式1株に対し、
光洋精工の普通株式 0.76株を割り当てる。

合併比率の算定根拠

合併比率については、公平性と妥当性を期すため第三者機関として光洋精工は大和証券SMBC株式会社、豊田工機は野村証券株式会社にそれぞれ合併比率の算定を依頼し、その算定結果を参考に両社で協議決定した。

合併までのスケジュール

合併準備委員会発足	2005年2月(予定)
合併契約書締結	2005年4月(予定)
合併承認株主総会	2005年6月下旬(予定)
合併期日	2006年4月1日(予定)

両当事会社概要

①商号	光洋精工株式会社	豊田工機株式会社
②事業内容	各種ベアリング、ステアリング、 工作機械、工業用熱処理炉、 その他各種機械部品等の製造 販売	工作機械、メカトロニクス製品、 ステアリング・駆動等自動車 部品の製造販売
③設立年月日	昭和10年1月	昭和16年5月
④本店所在地	大阪府中央区南船場 三丁目5番8号	愛知県刈谷市朝日町 1丁目1番地
⑤代表者	取締役社長 吉田 紘司	取締役社長 横山 元彦
⑥資本金	28,194百万円	24,805百万円
⑦株主資本	138,479百万円	111,139百万円
⑧総資産	358,795百万円	220,140百万円
⑨従業員数	5,990人	3,914人

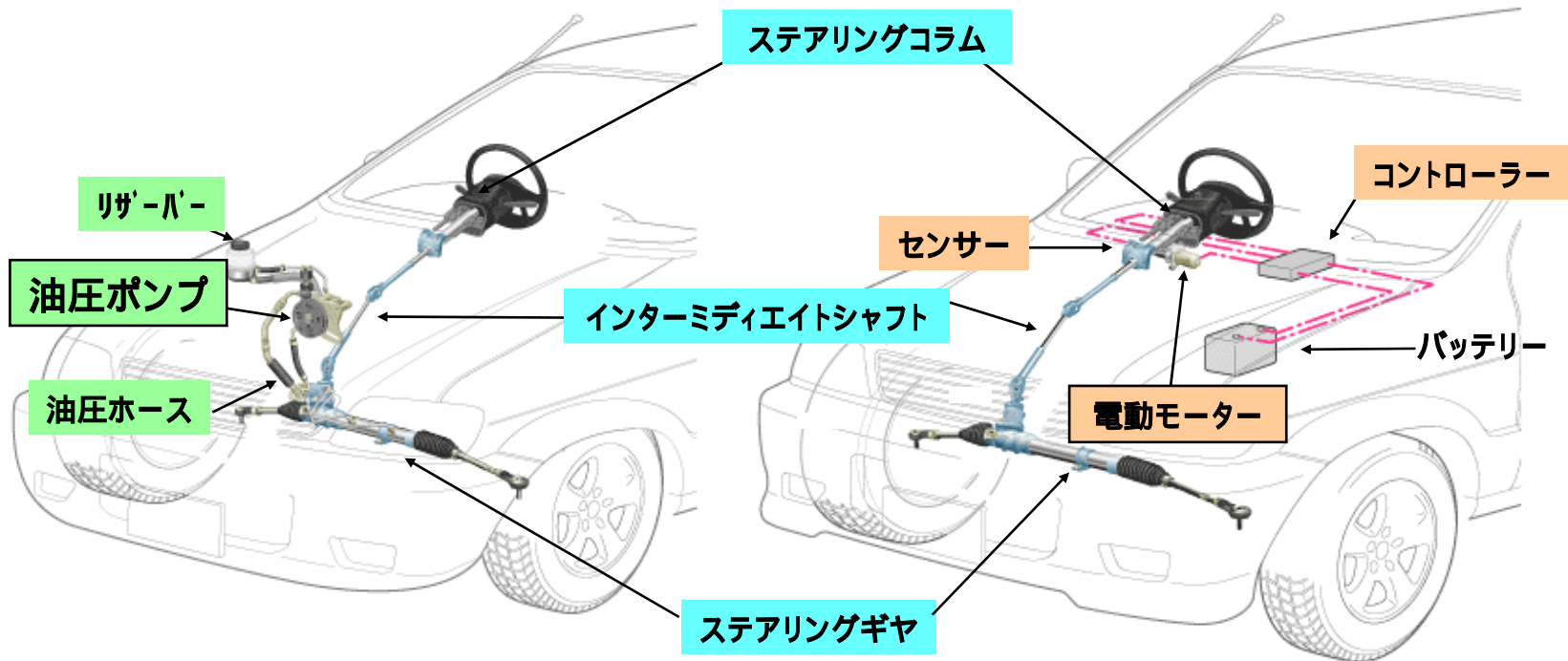
2004年9月期実績(単独)

ステアリング事業

パワーステアリングシステムは、地球環境保全のニーズから急速に油圧式から電動式への移行が進んでおります

● 油圧式

● 電動式

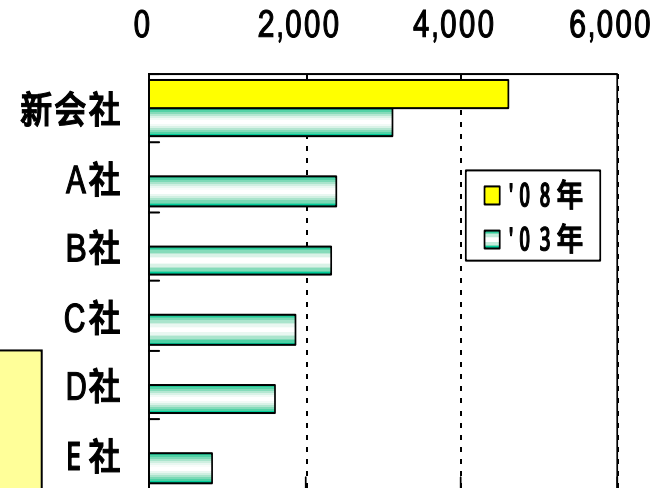


ステアリング事業の基本戦略

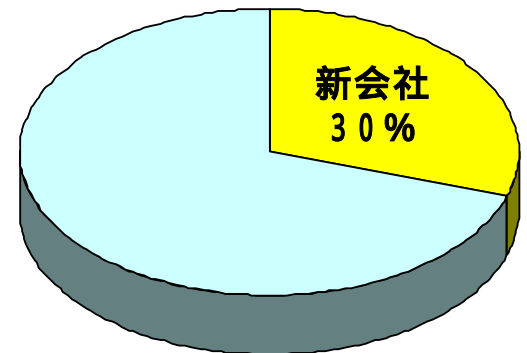
ステアリング事業で
リーディングポジション確立

リソースの再配置とノウハウ結集による技術開発力の強化と商品ラインアップ充実
統合効果を活かしたコスト競争力の強化
グローバル供給力の拡充と運営基盤の強化

業界ポジション(売上高) (億円)



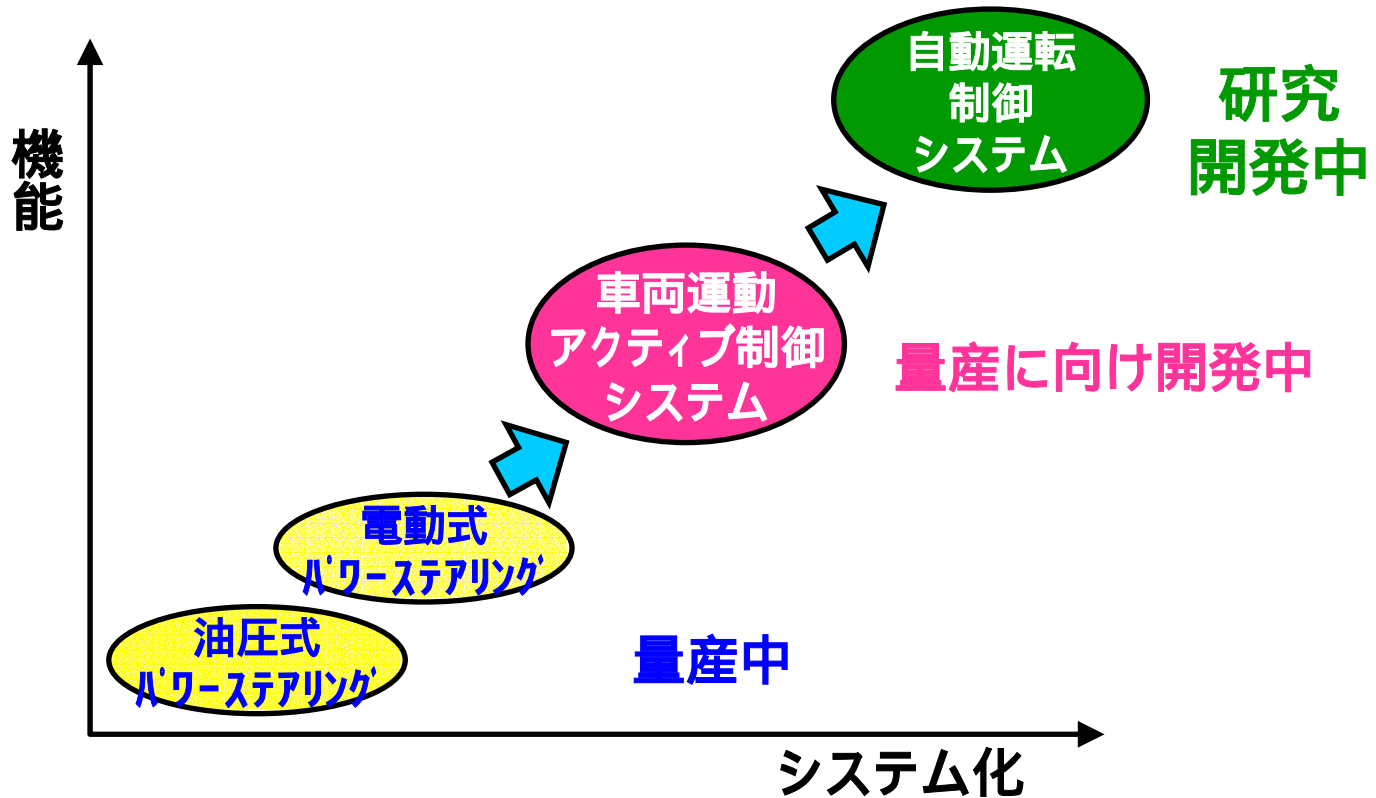
08年グローバルシェア目標



ステアリング商品開発

全商品の品揃えによるフルシステムサプライヤー
グローバル開発拠点の構築

日米欧の世界3拠点で先行開発を含めた開発体制整備完了
先行開発の充実



ステアリング グローバル供給



並存地域の経営一体化及び
生産品種統合による効率化を図る

ベアリング事業の基本戦略

強化する自動車用ベアリング（円錐ころ、ハブユニット等）へのリソースシフト及び、他商品とのユニット化等によるシナジーの発揮

円錐ころ：差別化商品の投入と革新技術の開発によるダントツコストの実現で、商品力世界No.1を堅持

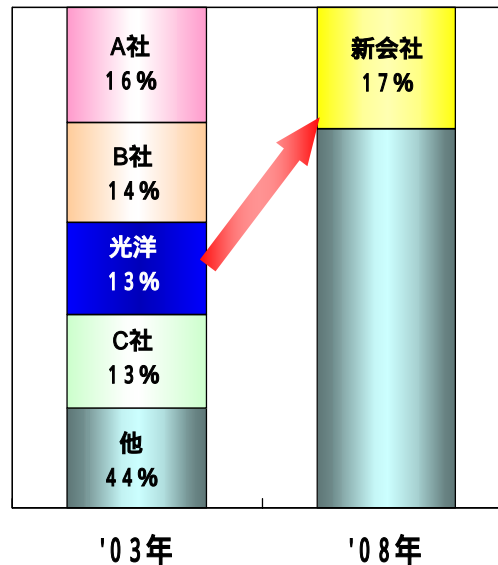
ハブユニット：先行開発（高機能化）充実とグローバル供給体制強化

針状ころ：自動車用重点品種（AT用スラスト、ロッカーーム用）に特化
ベアリングと駆動部品とのユニット商品開発



自動車用ベアリング
世界トップレベル
(世界シェア 17%)

業界ポジション(売上高)

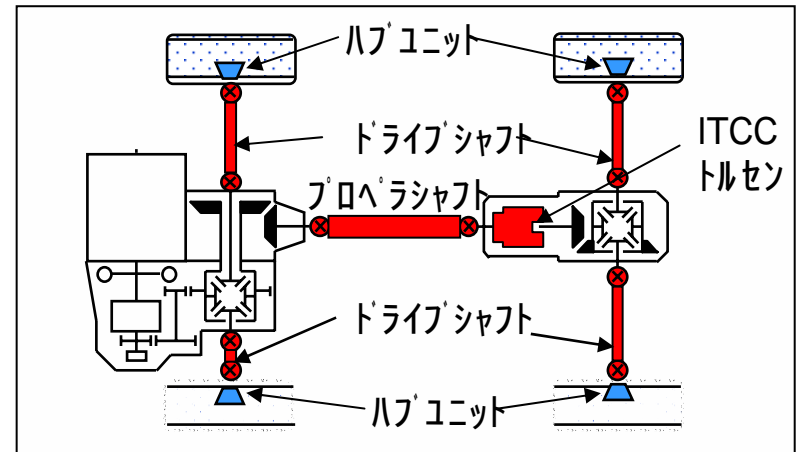
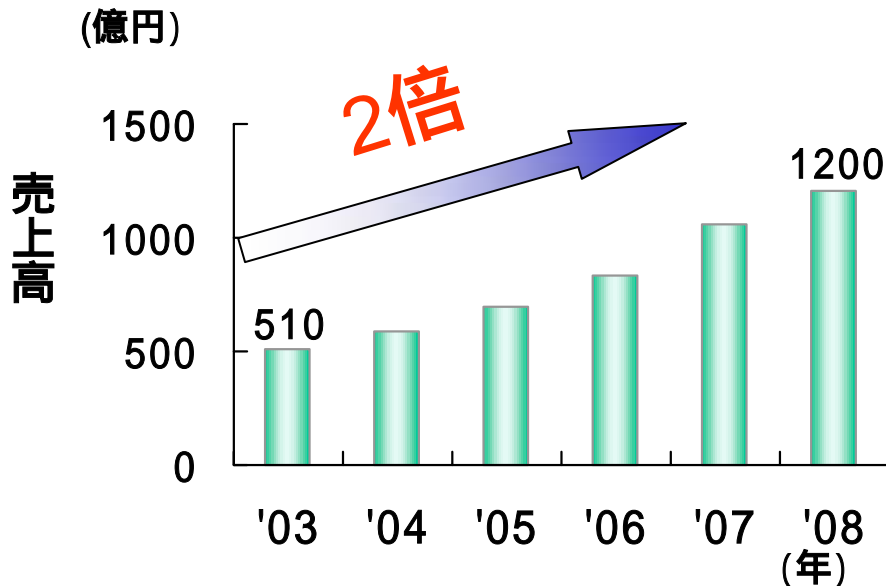


駆動事業の基本戦略

グローバルな戦略的展開で、世界トップクラスの
ドライブラインサプライヤーを目指す

拡大する4WD市場に向け、ダントツ商品力をもつ 電子制御カップリング
(ITCC)、トルセンをグローバル展開

工作機械技術のモノづくり革新とベアリング技術のシナジーによるドライブシャフト
の商品力、特に価格競争力の向上 (国内、アセアン、中国)

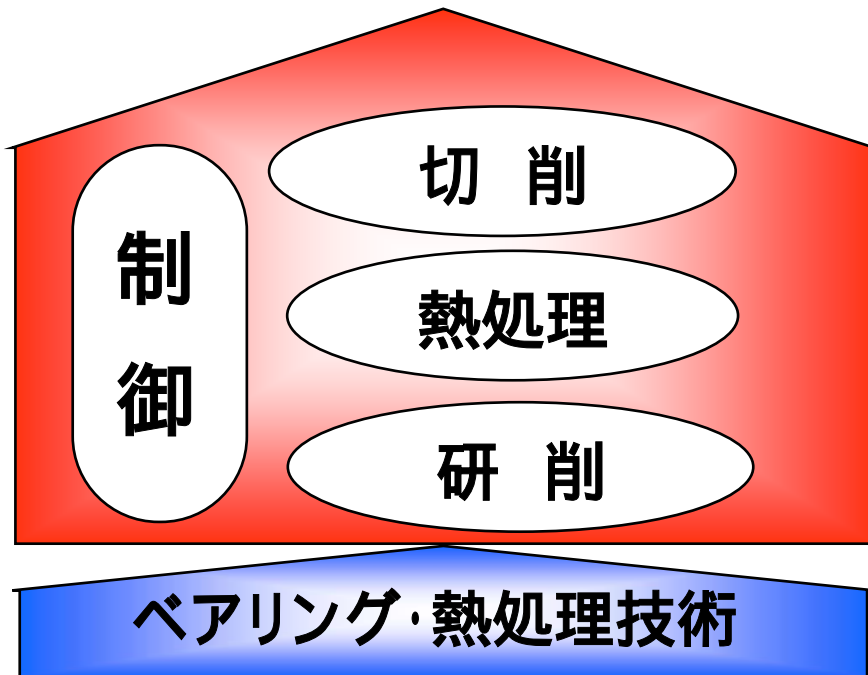


ベアリング技術

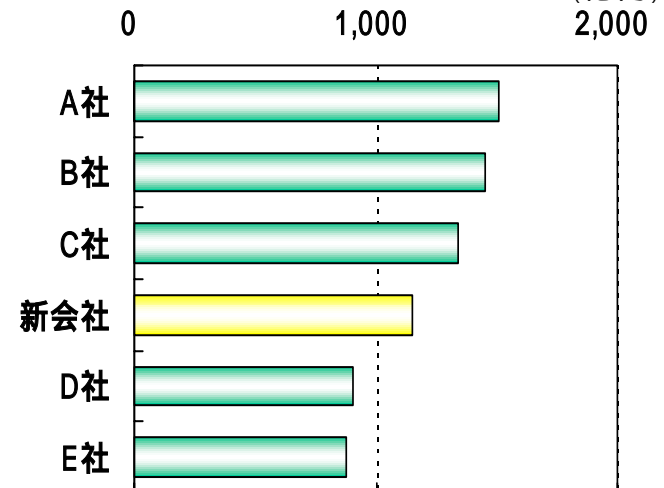
工作機械事業等の基本戦略

両社保有技術の結集により、ナンバーワン技術を備えたシステムサプライヤーとしてお客様のモノづくりへの貢献と事業の発展を目指す

優れたベアリング技術/熱処理技術の活用
研削技術領域拡大
制御技術の融合



業界ポジション('03年売上高) (億円)



統合効果

事業規模拡大
による強固な
経営基盤の確立

経営管理機能の
統合による
効率化

技術開発領域の
拡大による
新商品開発力強化

統合効果
200億円

営業・生産
グローバル拠点
の
充実と効率化

工作機械事業を基盤とした
モノづくり革新による
競争力の一層の向上

2008年度財務目標(連結)

	'04年度見込み			'08年度 目標
	光洋精工	豊田工機	単純合算	
売上高(億円)	5,600	2,360	7,960	10,000
経常利益(億円)	300	105	405	700
ROE(%)	12.4%	5.1%	8.9%	15%

問合せ先

社名	窓口	電話
光洋精工	総務部 広報グループ	06-6271-8451
豊田工機	経営管理部 経営管理室	0566-25-5412

社名	ホームページ
光洋精工	http://www.koyo-seiko.co.jp/
豊田工機	http://www.toyoda-kouki.co.jp/

本資料で記載されている業績予想、将来予想は現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。